



ジューンベリー

宮坂静生



黒揚羽海に撃りて傷つかず
六月の鳶銃剣を掠め飛び
梅雨入り前波濤喉をあけ崩る
梅雨底へ波多野勤子の「少年期」
よるべなき魂梅雨灯またたかず
浦安の梅雨のべか船ここに生き

横山貞利追憶



山谷にこもる梅雨霧壊疽の身よ
斜傾みなぶだうの芽立ち遠ちに富士
菩提樹の花もからくり時計聞き
荏苒とすごす杏がなりすぎか
校了やジューンベリーの赤実浮き
目まといが家の中まで『無十』読む
竹落葉天地開闢神話かな

抽象画家斎藤義重の日記